



進徳の園

真岡市立大内中央小学校
学校だより 第6号
平成30年 10月23日

徳を進め、業を修める（建学精神）
教育目標（よく考える子 心ゆたかな子 がんばる子）

【校長室から】

校長室には、中学校の担任だったときに、修学旅行の引率で、京都の青蓮院からいただいた額があります。「大切な五つの心」というものです。

大切な五つの心

「ハイ」という素直な心
「すみません」という反省の心
「おかげさまです」という謙譲の心
「させていただきます」という奉仕の心
「ありがとうございます」という感謝の心

＜よき心＞の灯で一隅を照らそう

この「五つの心」は、素晴らしいので、クラスで唱和していたものです。10月の朝会では、「素直な心」と「反省の心」について、話しました。

「素直な心」については、シドニーオリンピック、女子マラソンの金メダリスト、高橋尚子さんを話題に取り上げました。高橋さんの監督、小出義雄さんの著書「君ならできる」では、高橋さんが金メダルを取った要因を次のように書いています。「高橋がなぜ強くなってきたか」というと、私の長年の監督としての経験から、1ついえる特長がある。（中略）ともかく、性格が素直の一語に尽きる。だから、強くなる。強くならない子は、自分の心を閉ざしてしまっている。いくら私の経験で強くなるように指導してあげても、扉を閉めているから入っていけないので。高橋は、いつも開けておいてくれるから、私がいうと心にスープと入っていって、大きくなる。またいうと、大きくなる。どんどん、大きく伸びる。高橋の強さの秘密は、そんな素直さなのだ。」このエピソードから、「素直な心」をもつことの大切さを話しました。

「反省の心」については、私のサッカーの審判での経験を話しました。それは、ラフプレーを反省しない本県の有名な社会人の選手に、2枚目のイエローカードを与え、レッドカードにより退場させたことです。1枚目のイエローカードを出されたとき、その選手は、自分のプレーを反省すべきでした。私もその選手に対して、「反省してよいプレーをしてくれ」と思いました。しかし、彼は反省できず、ラフプレーを行ったのです。そのため彼は退場となり、チームに多大な迷惑をかけてしまったのです。この出来事から、「反省する心」の大切さを話しました。

児童の皆さんには、「ハイ」という素直な心・「すみません」という反省の心を生かし、豊かな小学校生活を送ってほしいと思います。そして、「よき心の灯で一隅を照らす」ことができれば、素晴らしいと思います。



芳賀地区音楽祭 9/27

芳賀地区音楽祭がありました。小学校合奏の部には、13校が参加しました。本校は、4番目の演奏でした。嶋崎友香先生の指揮の下、全員が集中して演奏をしていました。普段の練習を生かした、元気のよい「ゴーゴーブラス アドバンス」の演奏ができたと思います。

他の12校の演奏も聞いたので、自分たちの演奏の参考になったと思います。他校の演奏から良いところを学び、自分たちの演奏に生かしてほしいと思います。舞台のうえでスポットライトを浴びて演奏できたことは、何よりも貴重な体験です。



ウサギとのふれ合い体験 9/28

獣医師を招いて、1年生が生活科の時間に「ウサギとのふれ合い方」を学びました。ウサギの特徴、えさ、世話の仕方、だっここの仕方などを学びました。

聴診器でウサギの心臓の音を聞いたり、一人一人がウサギをだっこしたりしました。貴重な体験でした。



遠足 10/1 2

遠足がありました。1・2年生は、「栃木県子ども総合科学館」へ、3・4年生は、「茨城県アクアワールド大洗」へ、5年生は、「日光東照宮・輪王寺」へ行きました。上学年がリーダーとなり、班別行動がしっかりとできました。



1・2年 「栃木県子ども総合科学館」にて



3・4年 「茨城県アクアワールド大洗」にて



5年 「日光東照宮・輪王寺」にて

修学旅行 10/18～19

6年生が、1泊2日で修学旅行に行ってきました。1日目は、「国會議事堂」・「東京スカイツリー」・「羽田空港・JAL機体整備場」を見学しました。2日目は、「江ノ島」を出発点、「鶴岡八幡宮」をゴールとして、班別で行動しました。自分たちで計画し、実施した班別行動は、充実したものとなりました。

